

檜葉町駐在現地確認概要(平成30年3月12日～3月16日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連パラメータ
3月12日	使用済保護衣等保管エリアの状況確認	使用済保護衣等保管エリア	<p>○使用済保護衣等保管エリアの状況を確認した。コンテナは2～4段積みで整然と保管されており、延焼防止対策として消火器が2基配備されていた。エリアの占有率は、約9割を占めており、エリア西側のみに空きスペースが残っていた。目視で確認した限り、コンテナから廃棄物が飛散・流出等している様子は認められなかった。</p>	10時12分現在
	処理水バッファタンク取替に伴う周辺機器の移設状況の確認	既設処理水バッファタンク周辺	<p>○炉注水用の水を貯留している処理水バッファタンクについて、漏えいリスクの観点から既設フランジ型タンクを溶接型タンクに取り替える計画がある。溶接型タンクは既設フランジ型タンク南側に設置する予定であるが、取替に伴い、干渉物となる機器を移設する作業が行われていることから、その状況を確認した。移設の対象機器は、非常用高台炉注水ポンプ用D/G、窒素タンク及び共用ヘッダの3施設であり、非常用高台炉注水ポンプ用D/Gが移設されていることを確認した。</p>	
3月13日	雨水回収タンクの現況確認	K1北タンクエリア東側雨水回収タンク J6タンクエリア南側雨水回収タンク	<p>○雨水処理設備については、平成28年7月4日付けで実施計画の変更認可申請が原子力規制委員会に提出されており、雨水受入タンクや雨水回収タンクの撤去及び設置等の工事が進められていることから、K1北タンクエリア東側エリア及びJ6タンクエリア南側に設置されている雨水回収タンクの現況を確認した。 K1北タンクエリア東側では、サブドレンサンプルタンク(既設)と隣接して、溶接型タンクが1基設置されており、タンク周囲にコンクリート堰が設置されていた。K1北、K1南及びK2タンクエリアからの受入配管等が敷設されていたが、タンクには未使用の旨の表示があった。 J6-4雨水回収タンクエリア南側では、フランジ型の雨水回収タンクが6基設置されており、鋼製の仮堰で囲まれていた。一部のタンクには、仮堰内に水中ポンプが設置されており、堰内雨水を移送する耐圧ホースが別のタンクエリアの内堰内まで敷設されていることが確認された。</p>	10時10分現在
3月14日	コンクリートポンプ車による注水訓練予行演習の状況確認	ろ過水タンク付近 3号機前高台	<p>○コンクリートポンプ車を用いた3号機原子炉建屋への注水訓練予行演習の状況を確認した。 固体廃棄物貯蔵庫第9棟西側では非常用炉注水ラインの固定ヘッダーにポンプを積んだヘッダー車を接続し、旧事務本館別館裏送水ヘッダーに向けて加圧していた。 3号機南側にコンクリートポンプ車を配置し、アームを伸ばして3号機に注水する訓練を行っていた。(確認時点では3号機側での実際の送水は行っていなかった。) 3号機側での作業は13時45分頃から開始され、コンクリートポンプ車のアームの先端が注水口に到達したのが14時00分頃であった。</p>	10時12分現在
3月15日	地下水バイパス排水状況の確認	免震重要棟集中監視室	<p>○地下水バイパス一時貯留タンクからの排水操作に立ち会った。水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。</p>	10時09分現在
	地下水バイパス海水サンプリング状況の確認	地下水バイパス排水口	<p>○地下水バイパス排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。福島県測定分も含めて5本採取した。</p>	
	サブドレン処理水排水状況の確認	免震重要棟集中監視室 サブドレン処理水一時貯水タンク、移送設備	<p>○サブドレン一時貯水タンクからの排水操作に立ち会った。水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。</p>	
	サブドレン海水サンプリング状況の確認	5、6号機放水口北側	<p>○サブドレン排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。福島県測定分も含めて5本採取した。</p>	
	Bタンクエリア堰撤去工事現場の滞留雨水の対応状況の確認	Bタンクエリア	<p>○3月9日にBタンクエリアの堰撤去工事の進捗状況を調査した際、窪地に仮置きされているコンクリート殻を収納したフレコンバッグが滞留した雨水に浸かっていた事象について、その後の対応状況を確認した。 フレコンバッグは、窪地から平らに整地されている場所に移動されており、雨水浸入防止対策としてシートで覆われていることを確認した。</p>	
G3西タンクエリア堰内雨水の外堰への漏えい状況の確認	G3西タンクエリア	<p>○3月15日、G3西タンクエリアで漏えいが発生したとの情報を得たことから、現場の状況を確認した。 漏えい発生場所は、G3西タンクエリアの北西側で、内堰内の雨水が外堰へ漏れ、内堰と外堰の間の開口部へ水が流入し、地面へ浸透したとのことであった。現場作業員によると、漏えいの原因は内堰の入口付近をドライアップするために仮堰で区画し、仮堰外へ雨水を移送していたが、移送に使用していた耐圧ホースが吐出圧力により動いて、先端が外堰へ向いてしまったためとのことであった。また、漏えいした水は、外堰を伝って地面の開口部へ流入したとのことであった。</p>		
3月16日	G3西タンクエリア堰内雨水の地面への浸透(疑い)現場の状況確認	G3西タンクエリア	<p>○3月15日に発生した、G3西タンクエリア堰内雨水が当該エリアの内堰と外堰の間の地面の亀裂へ流入した件について、亀裂箇所の状況を確認した。 亀裂が生じていた箇所は、G3西タンクエリア南側の内堰の外壁の根元にあり、地面に4～5cmの開口が確認された。開口部の上は、鉄板が数枚被せられており、周囲には雨水浸入防止対策として土のうが積み重ねられていた。確認時は、雨により地面が少し濡れていたが、漏えいした堰内雨水はすべて回収されていた。また、開口部への流入状況を調査するため、クレーンで鉄板の吊り上げ作業が行われていた。</p>	10時06分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。